

39 たけたしょう 竹田の鉦（一）



指 定	市有形文化財	昭和46年10月 1日
所在地	根 岸	
所有者	工藤 光吉	

延慶2年（1309）銘のこの鉦^{しょう}について『南佐久郡志』には、「昔、竹田に大きな寺があったと伝えられている。後にその地に平見堂を建てたが、明治維新の際に廃堂となった。

文政年中（1818～1829）この地から銅鉦が発掘された。銘には延慶2年2月15日とあったが約500年もの年月を経ているにもかかわらず、形が少しも損傷していないのみか、打てば美しい音色を発した。」と記されている。

建治2年（1276）伴野信時が、跡部の鉦鑄場（今の金山か）で8鉦を鑄たという記録があるが、この鉦もそれと同類のものではないかと考えられる。

中野市中野小学校所蔵の延慶元年銘の鉦、および、ほぼ同年代のものと考えられる野沢金台寺の鉦も、ほとんど形態その他が同一で、いずれも信州における逸品であり、銘もまた県内における金石文の優品である。

法量は上径19cm、底径21cm、高さ5.5cm、重量2.2kgである。